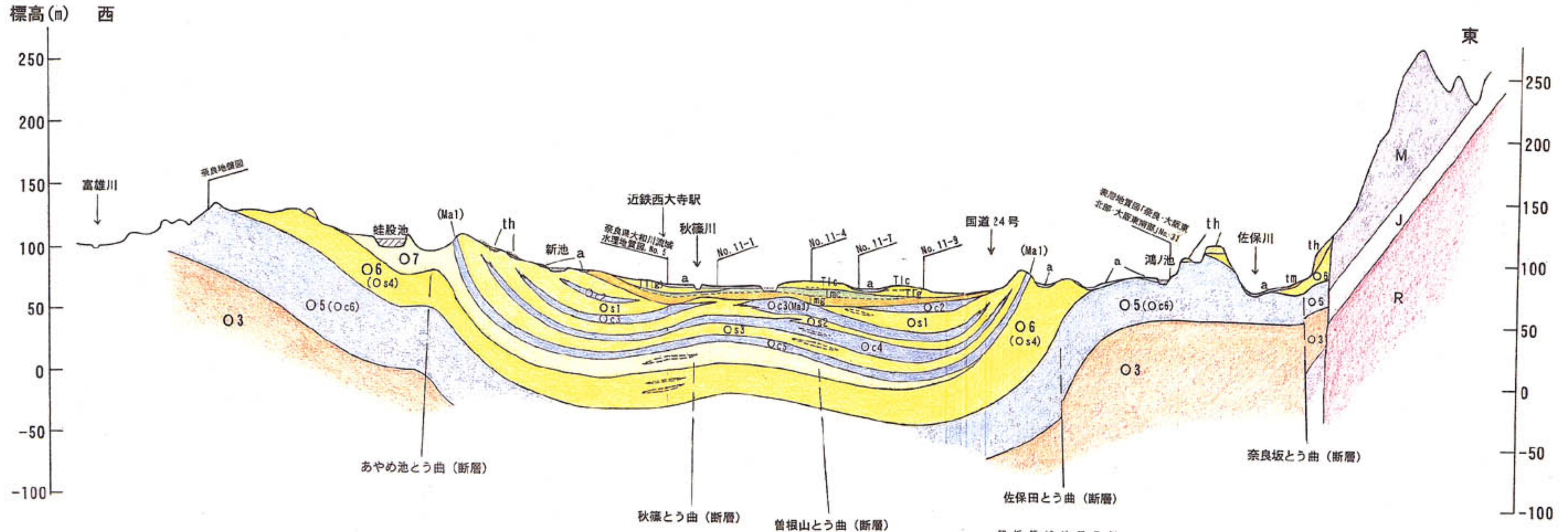


図4-5 解析領域推定断面図(東西方向)

縮尺 1/25000 横:縦=1:10



解析領域地質凡例

地質時代	地層名	記号	層相	特徴
第四紀	沖積層	a	粘土	河川沖積層、河川氾濫の堆積物に属する(厚さ30~40cm)。砂質粘土からなり、質地の中央部に向かって、その厚さを増す。
	低位段丘堆積物	ti	粘土	地層では段丘の縁部に露出するが、現地では、沖積層下に分布する。砂質土、砂質土が特徴的であり、AT山脈の露出した部分に分布する。
		Tic	砂質土	
		Tis	砂質土	
中位段丘堆積物	tm	粘土	段丘段丘堆積物(以下、T)と同様、地層では段丘の縁部に露出するが、現地では、Tの下に分布する。黄褐色の砂質土(厚さ10cm)を主体とし、粘土土を伴うこともある。	
	Tmc	砂質土		
	Tmg	砂質土		
高位段丘堆積物	th	砂	奈良中央部と東部の間(100m前後)に主に分布する。内(砂質土)と外(砂質土)とに分れる。	
	Th	砂質土		
更新世	沖積層	Oc(1,2)	粘土	地層では段丘の縁部に露出する。現地では、段丘堆積物下に分布する。粘土土、砂、砂質土、砂質土を伴う。また、O _c (1,2)は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。また、O _c (1,2)は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。また、O _c (1,2)は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。
		Oc(3)	砂質土	
	沖積層	O _s	粘土	段丘堆積物より、早稲田層に分布する大規模な砂・砂質土の堆積物。砂・砂質土の厚さが10cm程度を伴う。また、O _s (1)は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。また、O _s (1)は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。
		O _s (1)	砂質土	
新第三紀	片麻岩	O7	砂、砂質土	奈良中央部の片麻岩。片麻岩の厚さは10cm程度を伴う。また、O7は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。また、O7は、砂質土の厚さ10cm程度を伴う。
	頁岩	O6	砂、砂質土	
	頁岩	O5	砂、砂質土	
新第三紀	正室山層	M	片麻岩	奈良中央部の正室山層。片麻岩の厚さは10cm程度を伴う。また、Mは、片麻岩の厚さ10cm程度を伴う。また、Mは、片麻岩の厚さ10cm程度を伴う。
	地獄谷層	J	頁岩	奈良中央部の地獄谷層。頁岩の厚さは10cm程度を伴う。また、Jは、頁岩の厚さ10cm程度を伴う。また、Jは、頁岩の厚さ10cm程度を伴う。
白垩紀	嵯峨成層群・嵯峨層群	R	片麻岩・頁岩	奈良中央部の嵯峨成層群・嵯峨層群。片麻岩・頁岩の厚さは10cm程度を伴う。また、Rは、片麻岩・頁岩の厚さ10cm程度を伴う。また、Rは、片麻岩・頁岩の厚さ10cm程度を伴う。



図4-5 解析領域推定断面図(東西方向)